

記者のメモ



復帰50年 文言調整で汗

○…日本復帰50年に合わせた国会決議や所属する立憲民主党の談話を巡り、党本部関係者らとの文言調整に奔走した喜友名智子県議（立憲おきなわ、那覇市・南部離島区）。国会決議では「特に基地問題で野党側の意見がどんどん削られていく様子が分かった」とし党勢拡大の必要性を痛感した。6月23日の慰霊の日も約1カ月後に迫る。ことしはロシアのウクライナ侵攻など平和の大切さを一層考えさせられる年になり「党として何らかの発信をしたい」。文言調整に追われる日々は続きそうだ。